

「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

- ・(ひ) 人の話をしっかり「きく」ことのできる子
- ・(や) やさしく 思いやりのある子
- ・(く) くじけず 最後までがんばる子
- ・(た) たくましく 健康な子



<http://www.hyakuta.m-alps.ed.jp/>

当たり前で心地良いあいさつを

先日、学校を訪れたお客さんがこんな一言を残してくれました。『この学校に来て驚いたことがあります。高学年の子が、学校内でも先生に「こんにちは」とあいさつしていたことです。学校でのあいさつ運動で「おはようございます」や「さようなら」は普通だと思いますが、「**こんにちは**」まで**当たり前**にしているのですね。とても素敵な学校だと感じました。』と。



これは児童会活動における成果の一つだといえるでしょう。まだまだ全校児童が元気にあいさつをというところまではいきませんが、少しずつあいさつの声が増えてきていることは確かです。この調子で高学年（特に6年生）のリードのもと、普段の生活の中や学校を離れた地域の中でも、心地良いあいさつが当たり前に関わられるようになってくれることを願っています。

運動会の練習少しずつ始まる

7月のお便りでもお知らせした通り、新型コロナウイルス感染防止のため、今年度の運動会は内容を縮小した形で計画しております。基本としては、以下の通りです。

- ・3密の防止、体の触れ合う活動の制限、練習時間の負担軽減、授業時数確保などを考え合わせ、種目数を絞り込み9月26日に半日開催で行う。
- ・低・中・高ブロックごとに時間を分けて行い、自分のお子さんが出る時間帯のみ観覧スペースでの参観を可とさせていただく。
- ・保護者の場所取り、テントやシートなどは遠慮していただく。また、一家庭での参観を2名程度に限らせていただく。



低学年リズム「ハクション大魔王」

細かい内容やお願いは、また別紙でお示しいたします。このような状況の中、少しずつ運動会に向けた練習が始まったところです。制限だらけの運動会ですが、限られた条件の中でも、子供たちは頑張っています。精一杯応援してあげてください。



中学年表現「花笠」



高学年表現「御神楽」

「沈黙は金」？ しっかり伝えることの大切さ…

職員室に入るときなど、「失礼します。〇年〇組の…です。～をお願いしに来ました。」などと、しっかりした態度で訪れる子が百田小にはたくさんいます。とても気持ちがいいものです。

「沈黙は金」ということわざがあります。これは、黙っていることには金の価値があるということです。「言わぬが花」ということわざもあります。言ってしまふより、言わない方が花のように美しいということです。また「言葉多きは品少なし」とか「口は禍の門」などというものもあり、日本ではおしゃべりな人は軽々しく品がないと思われていました。ついつい口に出してしまう私は、いつもその指摘を受けています。

ところで「沈黙は金」ということわざは、もとはヨーロッパのもので、明治時代に訳され使われるようになったものです。もとの形は「雄弁は銀、沈黙は金」でした。「雄弁」とは力強く上手に話すことで、ヨーロッパでは昔からとても大切なことだと考えられていたはずなのに…オリンピックでも一位が金、二位が銀、順序がおかしな気がしませんか。実は、このことわざができた頃のヨーロッパでは、多くの国が金ではなく銀をお金の基準とし、価値あるものと考えられていたようです。このことわざができたときには、お金同様に日常生活においては「雄弁」が価値あることとされていたのです。その後、ヨーロッパ全体が、金を基準とするようになりましたが、ことわざはそのまま残ったのです。



日本では、昔から口数が多いことを軽蔑し、沈黙する方がよいとする考えがあったので、「雄弁は銀、沈黙は金」ということわざが伝わったときにも、そうした日本の考え方に合わせて理解されたのです。そして、やがて「沈黙は金」の方だけ使うようになってきたようです。



「物言えば 唇寒し 秋の風」〈芭蕉〉。さて、今の日本でも「沈黙は金」なのでしょう。黙ってその場をやり過ごす態度よりも、「誰に何を伝えたいのか」「どのように話せば伝わるのか」「どんな態度でどんな言葉づかいをしたらよいのか」などについてしっかり学び取らせたいものです。

百田小学校全体が、挨拶同様、はきはきとしっかりした態度で、そして美しい言葉づかいで、自分の伝えたいことを論理的に語り合えるようになったなら、さらにすてきな学校になることでしょうね。

9月の歌

白桔梗 君とあゆみし 初秋の
林の雲の 静けきに似て 〔若山牧水〕

※白桔梗は、かつてあなたと歩いた、初秋の林の上に浮かんでいた雲の静けさに似ていることだ。